

JGN II イベント利用報告書

イベント番号：イベント-150

イベント名

JGN II ワークショップ（四国リサーチセンター）

イベント概要

情報ハイウェイ等の整備に伴い、教育機関におけるネットワーク利用が進みつつある。特に、単なるインターネットへのアクセスではなく、高校・小中学校など相互接続や遠隔教育などにおいて、様々な取組みが行われている。本ワークショップでは、このような教育の現場からの事例を紹介するとともに、その課題と今後のさらなる促進を図るための方策を議論した。

日程 2006年6月30日（金） 13:30-17:45

会場 高知医療センター くろしおホール（高知市池 2151 番地 1）

プログラム

1. 開会
2. 挨拶：四国総合通信局・局長 久保田誠之
3. リサーチセンターの研究紹介 13:40-14:45：
 - 13:40-13:50 JGN II の最新情報の紹介
嶋田昌行（情報通信研究機構テストベッド推進グループ）
 - 13:50-14:00 四国リサーチセンターの紹介
福本昌弘（四国リサーチセンター，高知工科大学）
 - 14:00-14:15 研究紹介「DV 伝送装置と音響測位」
都築伸二（愛媛大学・助教授，四国リサーチセンター・特別研究員）
 - 14:15-14:20 つくばリサーチセンターの最新情報
古賀達蔵（つくばリサーチセンター長）
 - 14:20-14:30 研究紹介「ミラーインターフェースとその応用」
細谷英一（NTT-MI 研，つくばリサーチセンター・特別研究員）
 - 14:30-14:45 研究紹介「多地点相互通信システム MidField System Ver.1.20」
【遠隔講演】
橋本浩二（岩手県立大学・助教授，東北リサーチセンター・特別研究員）
4. 講演 14:45-16:40：
 - 14:45-15:00 高知県新情報ハイウェイを用いた地域情報化
田村壮児（高知県情報基盤課・課長）
 - 15:00-15:20 四国における地域情報化の現状と課題
坂本世津夫（高知大学 国際・地域連携センター・生涯学習部門長）

- 15:20-15:40 工業系高等学校における IPv6 を用いたユビキタス社会実験研究
～平成 17 年度の研究成果～
渡辺健次（佐賀大学工学部・教授）
 - 15:40-16:30 教育現場における ICT 事情について 【遠隔講演・遠隔討論】
進行： 広岡淳二（九州リサーチセンター・特別研究員）
コメンテーター：
永井正直（（財）マルチメディア振興センター・技術調査部長）
竹内由佳（大分県日出町立日出小学校教諭） ※遠隔出演
杉下千昌（宮崎県西米良村立米良村所小学校教諭） ※遠隔出演
 - 16:30-16:40 イベントへのネットワーク利用の方法と効果
広岡淳二（九州リサーチセンター・特別研究員）
山内一郎（大手町リサーチセンター・特別研究員）
5. パネルディスカッション 16:50-17:40：
- パネリスト：
- 田村壮児、都築伸二、永井正直、広岡淳二、山内一郎、渡辺健次、
澤田努（高知医療センター地域医療科）
- コーディネータ：
- 山崎克之（長岡技術科学大学・教授）
- 討論内容：
- 教育現場などでのネットワークの利活用を続けるための方策 他
6. 閉会

主催 独立行政法人情報通信研究機構 四国リサーチセンター

後援 総務省四国総合通信局, 高知 JGN II 利用連絡会, JGN II 四国連絡協議会

協力 NTT コミュニケーションズ株式会社, 日立電線株式会社

その他

本ワークショップは、高知県新情報ハイウェイと JGN II を通して配信された。

- JGNv6 マルチキャストにて DVTS 配信
- 東北大学 林優一氏のご協力により、wmt の試験映像を配信
(<mms://wms.topic.ad.jp/jgn2ws2006>)

イベント参加者数（会場） 127 名

JGNv6 受信アクセスポイント 東北大学, 東京大学, 岐阜, 名古屋大学, 広島大学, 徳島大学, 九州大学, 鹿児島

実施の様様



来賓挨拶 (久保田 四国総合通信局長)



講演の様様 (古賀 つくばリサーチセンター長)



東北リサーチセンターからの遠隔講演
(東北リサーチセンター 橋本 特別研究員)



遠隔討論
(大分県, 宮崎県の小学校から遠隔出演)



パネルディスカッション



JGNv6 配信聴講の様様 (徳島大学工学部)

JGN II 接続概念図

